

平成21年11月6日

## 江蘇自転車電動車部品交易会

中国江蘇省南京市において今回で 27 回目となる「中国江蘇国際自転車、電動車及び部品交易会」が開催された。本展示会は中国本土では上海展、天津展に続く 3 番目に規模の大きな展示会であり、また、中国自転車業界幹部にとって絶好の交流の場ともなっている。

会 期: 2009 年 10 月 23 日(金)～25 日(日)  
場 所: 江蘇省南京市 南京国際展覽中心  
主 催: 江蘇省自行車電動車協会、江蘇省自行車有限公司  
中国自行車協会助力車專業委員会、江蘇省交通安全協会  
会場面積: 5 万平方メートル (前年比 11.1%増)  
出展企業数: 約 350 社 (前年比 16.7%増)  
参観者数: 約 5 万人 (前年比 11.1%増) (事務局発表数値)

### <展示会概要>

ここ数年の傾向と同様に中国国内市場を対象とした電動自転車とそれに関係する部品が出展された展示会だった。

中国全体の2008年の電動車の生産台数は前年比2.4%増の2,188.6万台で、2007年の対前年増加率9.7%に比較して増加幅は鈍化した。江蘇省は自転車が減少した反面、電動車は504万台から530万台へと増加しており、自転車から電動自転車へ移行しつつある。そのためか、前年より規模が縮小した2008年に対し、今年では会場面積、出展企業数、参観者数ともに前年を上回り活況を呈していた。

今年の傾向はリチウムイオン電池を採用した電動車がさらに増加したこと、価格帯もかつては3千元～4千元もしていたが、2千元を大きく下回る製品が増加したことである。良い製品を手ごろな価格で消費者に提供しようという戦略であろう。

新製品としては、電動モーターにガソリンエンジン(70CC)を搭載したハイブリッドタイプの電動車が多く参観者の目を引いていた。出品したのは無錫のメーカーであるが、省エネとバッテリー寿命3倍などをセールスポイントにしている。走行開始はモーターで行い、その後のガソリンエンジン走行時はバッテリーの充電が行われる方式である。業界関係者によると3,100元という価格と非自動車という扱いではないので様々な規制の対象となる点で、今後市場で受け入れられるかは未知数であるとのことである。

日系では唐澤交通機材(泰州)有限公司と昆山吉貝機械金属有限公司が電動車向けのブレーキを中心に展示していた。唐澤は毎年、特に盗難防止機能に力を入れ

た新製品を展示してきている。今年は自動車のようにキーのボタンを押すだけでブレーキ、ハンドル、バッテリーが一瞬にロックできると同時に車体を少しでも振動させるとブザーが鳴り始めるシステムを備えた新製品を展示し注目されていた。

吉貝は今回が初出展で、電動自転車向けのブレーキを中心に出品し、多くの参観者を集めていた。

ますます価格競争の激しくなる中国電動車市場において、今年も各メーカーは生き残りを賭けてしのぎを削る展示会だった。

今回は本部から小鷹狩国際業務部長も中国出張の一環として本展示会を参観し、前出の日系メーカーを初めとして多くの業界関係者と情報交換を行った。



開会式



小鷹狩部長も開会式のステージに



中国輕工業連合会会長の歩正発氏(中央)と



唐澤交通機材(泰州)有限公司



昆山吉貝機械金属有限公司ブースにて



無錫愛立特車業有限公司のハイブリッド車

以 上

(上海事務所)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。